



浦島伝説

令和5年 5月26日

第7号

輝笑転結

～一人一人が立て役者～

明日をどんな気持ちでむかえるのだろうか？1年生にとっては、中学校生活初めての体育祭。2年生にとっては、2度目の中学校での体育祭。3年生にとっては、中学校生活最後の体育祭。

日々の練習にも熱をおび、聞こえてくるかけ声もどんどん大きくなってきています。まさに青春そのものといった感じです。体育科の先生方を中心に詫間中学校の生徒が「輝き」「笑い」「転(めぐる)」「結束」することを願っての練習の日々も今日までです。

5月24日の予行練習で、「超一流の体育祭」がみたい。と話しました。「超一流の体育祭」では、生徒の本気がピンピン伝わってきます。本気になったとき、目つきが変わります。動きがそろいます。声が出ます。そして何より、その場の空気が変わります。本気の心は、必ず形になって見えます。

本気になった者しか味わえない、あの鳥肌が立つような感動を、ぜひ「チーム詫間中」で味わいませんか。明日、本気の「超一流の体育祭」が見られることを楽しみにしています。これまでの成果を発揮するとともに一人一人が立て役者となって詫間中学校の体育祭をみんなで創りあげましょう。

さて、「超一流の体育祭」に向けて多くの方が支えてくれているのを忘れてはいけません。

毎日の洗濯や体調管理をしてくれているおうちの方。5月21日には、保護者の方々が、「超一流の体育祭」の会場を美しくしようと除草作業に参加してくれました。正面玄関には、「超一流の体育祭」を応援する新たな黑板アートも作成していただきました。先生方は、体育科の先生方を中心に、最後の最後まで話し合い、「超一流の体育祭」の準備をしてくれていました。さあ準備は、整いました。



【5月21日(日)の除草作業】



【5月24日(水)予行練習の様子】